

都計協 2016(平成28)年度 関ブロ協議会成果報告

2016(平成28)年度 関東甲信越地区計量団体連絡協議会が、神奈川県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、茨城県、栃木県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長門県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、の各都府県、の当番

■諸問題を討議し、交流を深める

関東甲信越地区計量団体連絡協議会は、関東甲信越地区の計量協会と計量士会が合同で、各都府県が持ち回りで開催している。かつては計量協会と計量士会はそれぞれ独自で協議会を開催していたが、2003(平成15)年から合同開催している。

同協議会は、年に1度、10都府県に渡る関東甲信越地区の計量協会と計量士会の会員が集まり、計量に関する諸問題を討議するとともに、相互の交流を深め、親睦促進をはかっている。

■2氏に感謝状と記念品を贈呈

まず協議会感謝状および記念品贈呈式を挙行した。総合同会は佐藤和雄、神奈川県計量協会事務局

特集 とうきょうの計量 No.252

東京計量協会は、11月計量強調月間の行事として恒例の「計量記念日のつどい」を開催した。

計量関係功労者の表彰、計量強調月間の標語の発表、懇親パーティーが催された。

【日時】2016(平成28)年11月11日、15時30分～

【会場】ホテルアジュール竹芝

◇記念式典

◇会場/時間 16階、曙の間、17時～

来賓として検定所より戸谷嘉孝所長、大野正隆副所長、原島光雄検定課長、山田敦久検査課長。

団体からは日本計量振興協会河津春樹専務理事、日本計量機器工業連合会堀井茂専務理事、全国計量販賣事業者連合会加藤寛専務局長らが臨席。

懇親パーティーでは、協会の職員等懇談し、有意義な交流が果たされた(参加者59名)。

今年の表彰等受賞者は以下のとおり。

【表彰】(株)シタ東京支社(遠藤智之(株)寺岡精工品質保証課長)▽原田茂人(長野計器(株)技術本部機械機器技術部長)▽事業所の部 佐藤製菓(株)八王子工場(報告)

【経済産業大臣表彰(計量関係功労者)】▽谷田大輔(元株)ニ又代表取締役会長▽長野暢夫(東京計量士会参与)▽金子啓三(東京都計量検定所)(東京都推薦)

【東京都功労者表彰】丸岡哲夫(一社)東京都計量協会副会長)

シリーズ にほんの計量、せかいの計量 (33) 技術顧問 切田篤

閏秒

来年の1月1日に、閏秒が挿入されるといってお知らせが、7月に総務省、情報通信機構より報道されました。1年半ぶりの閏秒挿入だそうです。前回の本稿で、きわめて正確な原子の放射現象により、1秒という時間が定義されていることを書きました。正確なはずの時

地球を一つの天体として全体的に見ると、実は柔な物体です。海水には満ち干があるし、中心のマグマも流れています。地球の自転の揺らぎが、一定速で回転できなくても不思議はありません。そう、地球の自転速度は

揺らいでいるのです。揺らぎのない秒の定義により、一定と思われていた地球の自転の揺らぎが、定量的に計測できるようになってきたともいえるでしょう。正確な原子時計に基づく時刻と、われわれが生活している揺らぎのある天文時に基づく時刻のずれを修正するのが閏秒なのです。

自転の揺らぎによるずれは、増えたり減ったりするのですが、閏秒により、これが1秒を超えないように調整されています。何百

年、何千年後に、もしも自転の揺らぎが大きくなれば、毎月挿入とかもあり得ますが、そんな状況になれば別の解決方法が模索されることでしょう。日本では、標準時から9時間ずれているの閏秒がおこなわれるのは、1月1日か、7月1日の9時か、追加しているだけですが、本当は公転周期にも関係があります。修正しなくてはなりません。この方法はとると、理論的には世界中の人々が時計を修正しなくてはなりません。したがって、秒、今度の閏秒をどうに使うか?元旦の朝9時、お屠蘇気分が、ほんの少し、長くなるかな!

2月28日の後に29日が挿入されて、1年が366日になります。こちらは定期的に挿入されるものですが、そんな状況ではありませぬ。地球が太陽を1周する公転周期が、実は365日ではなく、1/4日くらい長く、毎年それだけ遅れていくので、4年ごとには1日(約1日)を追加しているだけですが、修正しなくてはなりません。この方法はとると、理論的には世界中の人々が時計を修正しなくてはなりません。したがって、秒、今度の閏秒をどうに使うか?元旦の朝9時、お屠蘇気分が、ほんの少し、長くなるかな!

導係との協力のもと、適所2階(会議室A、B)【募集人員】30名【申し込み・問い合わせ先】東京都計量協会(竹添) 電話03-6666-6189、電子メール m-takezoe@tokei-kyo.or.jp

【日時】2017(平成29)年2月3日(金)、9時30分～16時30分

【会場】東京都計量検定所

ハカリは共栄

(寺岡)デジコンポ特約店

各種計量器・計測器・ラベラー機販売修理

[全国計量器販売事業者連合会・会員]
[認定計量器工サカタ有資格者の店]

共栄衡器

東京都足立区千住河原町45-6

TEL 03(3882) 8101 (代)
FAX 03(3882) 8172
E-mail: sales@kyoei-koki.com
URL: http://www.kyoei-koki.com

保守管理・代行検査業務・ISO対応計量管理業務

業者が所有する特定計量器(非自動はかり)の定期検査漏れに関する各計量協会および計量士会の対応について(神奈川県計量協会)

▽提案議題2「流通業界および小売業界の販売事

▽提案議題3「指定検定

【会場/時間】12階、白鳳の間、17時～

来賓として検定所より戸谷嘉孝所長、大野正隆副所長、原島光雄検定課長、山田敦久検査課長。

団体からは日本計量振興協会河津春樹専務理事、日本計量機器工業連合会堀井茂専務理事、全国計量販賣事業者連合会加藤寛専務局長らが臨席。

懇親パーティーでは、協会の職員等懇談し、有意義な交流が果たされた(参加者59名)。

今年の表彰等受賞者は以下のとおり。

【表彰】(株)シタ東京支社(遠藤智之(株)寺岡精工品質保証課長)▽原田茂人(長野計器(株)技術本部機械機器技術部長)▽事業所の部 佐藤製菓(株)八王子工場(報告)

【経済産業大臣表彰(計量関係功労者)】▽谷田大輔(元株)ニ又代表取締役会長▽長野暢夫(東京計量士会参与)▽金子啓三(東京都計量検定所)(東京都推薦)

【東京都功労者表彰】丸岡哲夫(一社)東京都計量協会副会長)

【日時】2017(平成29)年1月20日(金)、17時～

【場所】ホテルアジュール竹芝(電話03-3437-5566)

毎週更新!
今日の計量計測情報ニュース

都計協の賀詞交歓会は、以下のとおり開催する。

【日時】2017(平成29)年1月20日(金)、17時～

【場所】ホテルアジュール竹芝(電話03-3437-5566)

トラックスケール・計量装置を総合サポート

はかりのレスキュー隊

正確な技術力!現場の声を生かします

株式会社 ころぎょう 株式会社 ワーク衡業

東京都江戸川区鹿骨1-6-8 (〒133-0073) TEL 03-3679-0086 FAX 03-3677-5703

フリーダイヤル: ワークキューキュー 0120-809-994

【会場/時間】12階、白鳳の間、17時～

来賓として検定所より戸谷嘉孝所長、大野正隆副所長、原島光雄検定課長、山田敦久検査課長。

団体からは日本計量振興協会河津春樹専務理事、日本計量機器工業連合会堀井茂専務理事、全国計量販賣事業者連合会加藤寛専務局長らが臨席。

懇親パーティーでは、協会の職員等懇談し、有意義な交流が果たされた(参加者59名)。

今年の表彰等受賞者は以下のとおり。

【表彰】(株)シタ東京支社(遠藤智之(株)寺岡精工品質保証課長)▽原田茂人(長野計器(株)技術本部機械機器技術部長)▽事業所の部 佐藤製菓(株)八王子工場(報告)

【経済産業大臣表彰(計量関係功労者)】▽谷田大輔(元株)ニ又代表取締役会長▽長野暢夫(東京計量士会参与)▽金子啓三(東京都計量検定所)(東京都推薦)

【東京都功労者表彰】丸岡哲夫(一社)東京都計量協会副会長)

【日時】2017(平成29)年2月3日(金)、9時30分～16時30分

【会場】東京都計量検定所

【募集人員】30名

【申し込み・問い合わせ先】東京都計量協会(竹添) 電話03-6666-6189、電子メール m-takezoe@tokei-kyo.or.jp

【日時】2017(平成29)年1月20日(金)、17時～

【場所】ホテルアジュール竹芝(電話03-3437-5566)

CAMPBELL SCIENTIFIC, INC.

各種データロガー、センサー、ウェザーステーション、各種測定システム

Sentek Technologies

Sentek Sensor Technologies

プロファイル土壌水分センサー各種

日本総代理店

おかげさまで創立80周年を迎えました。

太陽計器株式会社

http://www.taiyokeiki.co.jp

営業本部 〒114-0032 東京都北区中十条1-12-3
電話 03-5963-5361 FAX 03-5963-5362

所定検都 計量記念日行事 「2016 都民計量のひろば」開催

計量記念日の11月1日に、東京都内の計量関係団体や企業、東京都計量検定所が組織する実行委員会主催による「都民計量のひろば」が開催された。この催しは、都民等に楽しみながら計量制度への理解を深めてもらうことを目的に毎年実施しているものである。新宿駅西口広場イベントコナーで、10時30分から16時までおこなった。今年のメインテーマは「くらしと計量」、サブテーマは「感じてみよう! 身近な計量」である。日々の暮らしと計量との繋がりを感じてもらうため、「健康と計量」、「水道・ガス・電気と計量」、「環境と計量」、「食品と計量」、「計量体験」の6つのコーナーを設け、また「ステーションラック」をおこなった。詳しい内容は次のとおり。



健康と計量コーナー



計量感覚ゲーム



計量工作



箏演奏

の試みで南極の水を展示し注目を集めた。
▽食品と計量コーナー
身近な食物の糖度や塩分、温度、アルコール度を測定し、また総菜等のカロリーをカロリー自動測定器で測定して、測定結果を参加者に確認してもらった。多くの参加者の興味を引いていた。
▽計量相談コーナー
計量全般に関する相談を受けるとともに、キログラム原器のレプリカを展示し、来場者の関心を集めた。
▽計量体験コーナー
計量に関して体験できるコーナーとして、計量感覚ゲーム(100グラムに挑戦)を今年も実施した。これは、見本である100グラムの豆と比べながら豆100グラムを手の感覚で計るゲーム。参加者は手の感覚の曖昧さと、正確に測れるかかきり的重要性を実感した。参加者が100グラムぴったりになり計量できると、他の参加者からも大きな歓声があがり、会場が大いに盛り上がった。さらに「計量工作」では計量士が講師となり、棒組み立てに参加してもらい、特に棒はかりの正確さに感心していた。
▽ステーションラック
計量管理研究部会の有志による軽妙なトークとともに「計量マジック」を披露した。今回は参加者にもマジックをしてもらうなどの参加型で盛り上がりを見せていた。

APLMF総会で講演

産業技術総合研究所・臨海副都心センター別館(江東区・青海)で、アジア太平洋法定計量フォーラム(APLMF)が開催された。APLMFはAsia Pacific Legal Metrology Forumの頭文字をとったもので、アジア太平洋地域の法定計量機関の交流の促進、地域での調和、技術レベルの底

上げ等を目的に、1994年に発足した。2016年現在、正加盟19経済圏、準加盟7経済圏で、日本も経済圏として参加している。事務局・議長は2015年からニュージーランドが担当し、APLMF総会は加盟経済圏持ち回りで毎年開催されている。今回第23回総会は、11月23日~25日の3日間、



講演の様子



会場の様子

東京で開催され、そのホスト国の講演の一環として、東京都計量検定所の事業・検定と基準器検査と題し、東京都職員が英語で講演(プレゼン)をおこなった。講演当日の24日は、17カ国、約48名の会議参加者およびそのほか、入念な準備をして本番に臨んだ。講演内容は、APLMFホームページに掲載している。
http://www.aplmf.org/uploads/5/7/4/7/57472539/roles_of_the_inspection_institute_of_weight_and_measures_of_tokyo_metrophan_government_verification_and_inspection_of_standards.pdf

PRESSURE 0.2
株式会社 第一計器製作所
http://www.daiichikeiki.co.jp

消費生活展へ出展

東京都計量検定所で行われた。出展内容は、計量感覚普及する事業として、都内区市等々で実施しているキログラム原器(レプリカ)の展示、特定計量器の検定風景等のパネル、町田市、豊島区、大田区、墨田区、足立区、目黒区、国立市、府中市の各消費生活展および、江東区民まつり中央まつりや、くらしフェスタ東京2016への出展をおこなった。

展示、また「日本のキログラム原器は何県にあるでしょう」(答:茨城県)といったクイズなどをおこなった。各区市とも見学者が列をなすような盛況ぶりであり、また、いろいろな質問があり、いろいろに答えられた。今後の出展予定は、来年2月12日(日)の品川区消費生活・社会貢献活動展、2月22日(水)、23日(木)の文京区消費生活展となっている。



消費者展の様子

2016(平成28)年度 出前計量教室中間報告

東京都計量検定所では、東京都計量士会、東京都計量協会および日本硝子計量器工業協同組合との協定のもと、都内公立小学校の4年生から6年生の児童を対象として、計量の大切さを知ってもらうことを目的に、「出前計量教室」を実施している。2016(平成28)年度11月末までの実施状況は、学校数3校、参加児童数162人。参加した児童に実施したアンケートでは、「おもしろかった」が、大多数であり、自由記入欄には「これまで計量のことについてあまり興味なかったが、この教室を体験してとても興味が出た。もっといろいろなことを調べたり計ったりしたい」といった声が多く寄せられた。2016(平成28)年度の出前計量教室は、総数で6校278人を予定しており、来年3月末まで継続して実施する。お知らせとお願い
この「特集」ときょうの計量は隔月(偶数月)に発行し、東京都計量協会の会報に代わるものとして全会員に配布しております。会員皆様のご投稿・ご意見・ご質問のほか、各都会等の動きなどは是非お寄せ下さるよう、ご支援をお願いいたします。
【編集委員(50音順)】
▽石井康二▽大木朗▽北野芳男▽切田篤▽坂本雅広▽高田慎吾▽高松宏之▽竹内健治▽竹添雅雄▽物江隼▽横山守一
一社 東京都計量協会 03-6666-8960
(ウイキペディア)計量は8面(つづく)

計量器のデパート

AND SATO SATO

新センサーSHSを搭載 分銅内蔵 電子天秤 GXシリーズ

温度・湿度のデータを記憶 データロガー 記憶計 SK-L200THIIa

簡単操作で塩分濃度、温度、濁度を測定! 塩分濃度計 SK-5S

全国計量器販売事業者連合会・会員 103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13 電話 03-3241-1824・7016 FAX 03-3241-3036

株式会社 三友産業社

電源にリチウム電池使用 電池持続約5年! 交換式

エバラケイキの液晶デジタル温度計

温度を正確に計測するデジタル表示です。現場取付に最適です。

- 液晶温度表示: サイズは18mmですから離れた場所からでも見やすいです。
- 計器指示部: 75φ SUS ケース製 (IP65相当)
- 温度範囲: -20~50℃、0~100℃、0~150℃、その他
- 温度センサー: サーミスター式ですから温度変化を素早く感知します。
- 温度表示精度: ±1.5%F.S (隔測 3m以上 ±2.0%F.S)
- 計器形状: 直結型、隔測型共用別に各タイプを製作いたします。
- 製作範囲: リード線最長 5mまで、感温部 8φ × 最短 20mm 以上
- 接液部材質: SUS304、SUS316、SUS316L を用意しています。電解研磨可能。
- 使用用途: 感温部はサーミスター式ですから、食品・医薬品等に安全です。

直結ヘルル型 DTAC75S

株式会社 荏原計器製作所 TOKYO MS ASR JAB CM035

〒142-0061 東京都品川区小山台 1-2-4 TEL03-3714-4561 http://www.ebara-keiki.co.jp FAX03-3710-1523

電力使用量を調整する新たな手法を開発 スマートメーターの通信ネットワークを活用

JST (科学技術振興機構) 戦略的創造研究推進事業で、鳥取大学の櫻間一徳准教授らは、再生可能エネルギーを含む複数の発電と蓄電によって構成される電力システムにおいて、スマートメーター間の通信を利用して、分散的に電力使用量を調整する新たな手法を開発した。

この研究では、スマートメーターの通信ネットワークを活用し、スマートメーター同士が需要量や供給量を交換することで、分散的に価格やインセンティブ (報償) の調整量を決定する新たなアルゴリズムを開発した。

これにより、大量のデータを集約し管理する必要がなくなるため、サーバーなどの情報インフラの設置や運用の必要がなく、低コストで電力システムを管理することが可能となる。

この研究は、JST 戦略的創造研究推進事業チーム型研究 (CREST) の一環としておこなわれ、鳥取大学の三浦政司助教と共同でおこなったもの。

東京計器がうるう秒調整で周知

船舶自動識別装置 (AIS) へ影響なし

2017年1月1日(日)に1年6カ月ぶりとなる「うるう秒」の調整が実施される。今回のうるう秒の調整は、2017年1月1日(日)8時59分59秒と9時00分00秒の間に「8時59分60秒」を挿入するもの。

その影響が懸念されているが、東京計器製船舶自動識別装置 (AIS) の内蔵GPS受信機は、GPS衛星から放送される「うるう秒実施予告情報」を受信すると、1秒遅れた時刻を認識するが、装置の運用上影響はないと、同社はwebサイトなどを通じて顧客へ周知している。

今回の「うるう秒実施予告情報」は2016年12月2日9時(日本時間)から放送が開始されている。2017年1月1日のうるう秒調整後は、通常に戻る。

アズビル金門 JCSS 気体流量の校正範囲拡大

大口径流量計の実量・実圧での校正対応

azbilの校正で登録されているが、今回、6〜4000 m³/h に拡大した。金門は、久山町が、日本最大級のJCS S校正可能な気体流量計の認定を取得した。

同校正サービスセンターは、2003年6月に気体流量におけるJCS S校正事業者として流量範囲6〜1000 m³/hの校正に対応することが可能になった。

従来は加圧状態で使用される流量計でも、大気圧力での試験証明書しか発行できなかったが、今回の校正範囲の拡大により、LNG船やガス会社の幹線ラインに使用されるような大口径の流量計の実量・実圧でのJCS S校正に対応することが可能になった。



地球温暖化防止等のパネル展示を担当した。地球温暖化防止パネル展示の前では、関心の深さから、計量士の説明に熱心に聞き入っていた。ここでは本物の「南極の水」を展示して、来場者に触らせていた。

計量工作教室の参加者は、作った寒暖計や棒はかりが正しく測れるのを確認して、満足気な表情を浮かべていた。昨年も寒暖計づくりに参加した人は、「今も重宝しています」と話していた。

水道メーターの検針ミス

発覚防ぐため無断放水

岡山市で住宅の水道メーターの検針を委託されていた会社が、使用量を誤って多く読み取っていたうえ、ミスが発覚しないよう一部の住宅の敷地に無断で立ち入って庭で放水していたことがわかった。岡山市は、市はこの会社を厳重注意とした。

検針ミスは2014〜16年に22件。メーターの数字の間隔違いが原因で、4件の過徴収(147〜32円)があった。うち2件は長期不在の契約者の敷地内に無断で入り、庭の水を出すなどの帳尻合わせをしていたという。

部会・団体 だより

東京計量士会

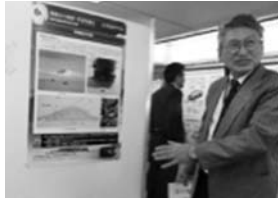
◎都民計量のひろば報告
11月1日、くらしと計量 感じてみよう! 身近な計量」をテーマに都民計量のひろばが新宿西口広場イベントコーナーで開催された。

◎新年交歓会のお知らせ
新年交歓会は、2017年1月27日(金)17時からリユド・ヴィンテージ目白で開催する。

日本硝子計量器工業協同組合

10月7日(金)理事会
9月理事会議事録の確認。月次会計報告。都民計量のひろばについて。「サイバーセキュリティ説明会」開催について。ガラス製温度計JIS案の確認。

11月11日(金)理事会
11月理事会議事録の確認。月次会計報告。11月1日(火)都民計量の報告。関東ブロック会議・都民計量記念日の集いの報告。三須計量器の自己破産について。水銀廃棄について。▽同日「常会」。



都民計量のひろばの様子

計量工作教室の参加者は、作った寒暖計や棒はかりが正しく測れるのを確認して、満足気な表情を浮かべていた。昨年も寒暖計づくりに参加した人は、「今も重宝しています」と話していた。

計量計測データバンク

1月のIDとPW

ID: 5140
PW: r5kgg4kpa



分析天びん

Advanced Performance UniBloc Balances

AP シリーズ

- ひょう量 120g~320g
- 最小表示 0.1mg

高速応答、高安定性を実現
分析天びんの新たなステージへ

High Speed

微量(1mg~)の応答時間を1/5(従来比)に短縮。はかりとりの作業効率が大幅にUPします。

Stress Free

新型イオナイザSTABLO-APを装着可能。静電気による影響を排除し、手間なく計量作業を行えます。

For HPLC

HPLCの作業にある緩衝溶液調製の機能を搭載。煩雑な調製作業をサポートします。

Save Your Operation

USB標準装備。ユーザーをサポートする多彩な機能を有します。



もっと詳しく知りたい方は

株式会社 島津製作所 分析計測事業部

<http://www.an.shimadzu.co.jp/>